

時代が求める新たな教養教育の構築

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の国公立三大学の連携の取組は、すでに10年近い歴史があり、教養教育についても、平成17年に「中間まとめ」として、現在の取組の骨格にあたる内容がまとめられています。

本取組では、それぞれの大学の特徴・強みを生かしたカリキュラムを提供することにより、学生の多様な関心に応え、総合的に物事を観察し、的確に判断できる能力と豊かな人間性の涵養を図っていきます。平成26年度には、各大学が提供する科目によって、科目選択の幅が大きく広がり、学生のより多様な関心に応えることが可能になります。

本取組を推進する「京都三大学教養教育研究・推進機構」には、「リベラルアーツセンター」と「教育IRセンター」が設置され、教育プログラムの開発と教育の質保証を担っています。

北山文化環境ゾーンにおける三大学教養教育共同化施設（仮称）の建設

京都府が平成21年に策定した「北山文化環境ゾーン構想」の中で、京都府立大学は、植物園、総合資料館、コンサートホールとともに、文化・学術・環境地区を構成する一要素として位置付けられています。現在、本事業のために、鉄筋コンクリート3階建ての教養教育共同化施設（仮称）の建設が始まっています。その施設を中心に、共同化科目の授業が展開され、文部科学省補助事業の平成28年度終了時には、取組成果を「教養教育 京都モデル」として全国に発信していきます。



「北山文化環境ゾーン」
未来図

「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」より



1階には最大100~200名収容の講義室が計6室、食堂など充実の設備が予定されています。

- [JR京都駅、阪急烏丸駅から]**
地下鉄烏丸線「北山」下車 1番出口から南へ徒歩7分
- [京阪出町柳駅から]**
市バス1「府立大学前」下車 徒歩5分
- [JR二条駅から]**
市バス206「府立大学前」下車 徒歩5分



Google maps より